



「回るかな？ほくたちが作った風力発電機」
子どもたちへの環境教育を進めています

地球温暖化にストップ！ 『新エネルギービジョン』を策定

近年、深刻な問題となっている「地球温暖化」。石油や石炭などの化石燃料から環境にやさしいエネルギーへの転換が、私たちに求められています。市が策定した「地域新エネルギービジョン」は、自然エネルギーやリサイクルエネルギーなどの導入・活用方法を示した計画書で、2010年までに市内エネルギー需要の3%程度を賄うことを、目標に掲げています。また、これを実現するため、市民や事業所の皆さんをはじめ、市が担う役割についても定めています。地域一体となって進めていく環境都市づくり。今回は、その概要を紹介します。

2010年を目標に

地域ぐるみの取り組みで エネルギー需要の3%を自給

新エネルギーって何だろう？

太陽の熱や風の力など、これまで利用していたものを新しい技術で有効活用できるエネルギーのことです。「自然エネルギー」と「リサイクル型エネルギー」「従来型エネルギーの新利用」の3種類に大きく分けられます(表①)。

このほか注目されるのは、電気や天然ガスで走るクリーンエネルギー自動車です。市内1世帯当たりで自動車を保有している割合は2・1台と高く、全国平均の1・4倍であることから、

これらの電気自動車などに切り替わっていくことで、大きな効果が期待できます。

私たちの役割は
どうなっているの？

計画書では、市内エネルギー需要量の3%程度を、2010年までに新エネルギーで賄うことを、目標に掲げています。そして、「エネルギー自給と経済の活性化」「児童への環境学習」「地域住民の意識向上」を基本方針に、市民と事業所、行政の役割分担を示しています(表②)。

急速な砂漠化によって、東京都の4分の1に相当する

今すぐ始めないと
だめなの？

急速な砂漠化によって、東京都の4分の1に相当する



福祉センターの太陽熱発電

表② 基本方針と役割分担



1. 地域のエネルギー自給と地域経済の活性化
2. 児童への環境学習
3. 地域住民の意識向上



市

- 新エネルギーの情報発信や相談を行う窓口の開設
- 環境教育の実施
- 公共施設への新エネルギーの導入検討
- 庁内協力体制の強化や勉強会の実施など

市民

- 市が進める新エネルギー施策への参加や協力
- 身近な省エネルギーや新エネルギー導入への取り組み



事業所

- 市が進める新エネルギー施策への参加や協力
- 環境に配慮した企業活動
- 新エネルギー導入への取り組み



新エネルギーの種類

表① □ は市内への導入が有望なエネルギー

大分類	区分	発電のしくみ
①自然(再生可能)エネルギー	太陽光発電	シリコンなどの半導体に光が当たると電気が発生する性質を利用し、太陽の光エネルギーを直接電気に変換します。
	太陽熱利用	屋根などに設置する集熱機で太陽熱を集め、給湯や暖房に利用します。
	風力発電	自然の風を風車の回転力に変換し、発電機を動かして電気をつくり出します。
	温度差エネルギー	海や川の水、下水、工場の排熱をヒートポンプで取り出し、冷暖房や給湯に利用します。
②リサイクル型エネルギー	バイオマスエネルギー	家畜の排泄物や廃木材などの有機物を発酵・燃焼させることで熱源や発電に活用します。
	廃棄物発電	廃棄物などを燃やすときに発生する焼却熱を直接利用したり、ボイラーの蒸気で発電します。
	廃棄物燃料製造	燃えるごみを砕いて添加剤を加え圧縮し、固形燃料を作ります。
③従来型エネルギーの新利用	クリーンエネルギー自動車	電気や天然ガス、メタノールなどを動力源とする自動車で、ガソリンと組み合わせたハイブリッド車も含まれます。電気自動車は排気ガスや騒音を出しません。
	天然ガスコージェネレーション	天然ガスを燃やして発電し、同時に排熱を給湯や暖房などに利用します。
	燃料電池	水素と酸素の化学反応を利用して、直接電気を発生させます。

「積極的に進めるべき」が75% —新エネルギー導入の意識調査から—

市では、「新エネルギービジョン」の策定にあたり、意識調査を実施しています。これには、無作為抽出された市民と市内事業所のうち、それぞれ173人、53社から回答をいただいています。

市の新エネルギー施策については、75%が「積極的に進めるべき」と回答。市内への導入を望むエネルギーとしては、廃棄物エネルギーが51%と最も多く、続いて太陽光、太陽熱、風力の順となっています。

太陽光発電やクリーンエネルギー自動車などの導入については、「コストが安ければ購入したい」という回答が多く、助成制度などの情報提供を求める意見もありました。

自由意見(抜粋)

【市民】

- ▶公共施設に太陽光・風力発電を実験導入し、成果を公表してもらいたい
- ▶低料金で乗れる循環バスがあれば、車からの排ガスが減り、交通渋滞の緩和も図れるのでは
- ▶公共施設への導入は賛成だが、設備費や維持費など財政面を考慮して進めて欲しい
- ▶ごみを減らすため、分別収集やリサイクルを進めることが大切だと思います

【事業所】

- ▶新エネルギーの情報などを、行政から広く提供していただきたい
- ▶風力発電に取り組む際の規制緩和や、税制面での優遇措置をお願いします

新エネルギーについての問い合わせなど詳しくは市環境課〔☎(7093)7838〕へ